

「北陸電力グループ統合報告書2026」の公表

2026年9月30日
北陸電力株式会社

本日、当社グループは、ステークホルダーの皆さまに当社グループの取組みについて一層のご理解をいただくため、「北陸電力グループ統合報告書2026」を公表しました。

本報告書は、当社グループの価値創造に向けた取組みへのご理解を深めていただくことを目的に、財務・非財務情報を北陸電力グループ新中期経営計画＜2023～2027年度＞に沿って体系的に取りまとめたものです。

今後も、ステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを推進するため、情報開示の充実を図ってまいります。

【北陸電力グループ統合報告書2026の概要】

1. 社長メッセージ
2. マテリアリティおよび価値創造プロセス
3. 北陸電力グループ新中期経営計画＜2023～2027年度＞に基づいた取組み
4. 社外役員へのインタビュー
5. ESGに関する取組み
 - ・「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）※1」提言に沿った情報開示
 - ・「自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）※2」提言に沿った情報開示
 - ・環境保全への積極的な取組み
 - ・地域社会との共生
 - ・コーポレート・ガバナンス体制の確保 など

「北陸電力グループ統合報告書2026」

<https://www.rikuden.co.jp/csr/integratedreport.html>

以 上

※1 Task Force on Climate-related Financial Disclosures

気候関連財務情報開示タスクフォースの略。金融安定理事会（FSB：Financial Stability Board）によって2015年12月に設立。投資家が気候関連リスクおよび機会について十分な情報に基づき投資判断を行うための情報開示を促す任意的な提言を2017年6月に公表。

※2 Task Force on Nature-related Financial Disclosures

自然関連財務情報開示タスクフォースの略。企業と金融機関が意思決定において自然を考慮できるようにするための、市場主導の、科学に基づく、政府が支援するグローバルなイニシアティブとして、2021年に発足。投資家やその他の資金提供者に対して、企業が明確で比較可能な一貫性の高い情報を提供することを促進するための提言を2023年9月に公表。